

2022Japan National Team Report ” サポーター”



報告者氏名	藤田 陽子
大会名	2022 Arkas Optimist World Championship
開催地	トルコ/ ボドルム
大会期間	6月27日～7月7日

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、JODA 海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA 理事会にて確認の後、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく客観的な立場から、詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について

このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい

開催地域の様子	誰もマスクをしておらず、コロナを気にしている様子は、全く感じられませんでした。
宿泊場所	選手達が滞在しているホテルから、徒歩3分ぐらいの所にある、貸家
大会のサポーターへの対応は	ハーバーには、一切入場できず、ハーバー2階にあるカフェに案内されました。
選手たちのコンディションいつもとどうでしたか？	エアコンで部屋が乾燥して、少し喉が痛くなった子もいましたが、他にはそんなに体調をくずしてる様子は見られませんでした。
サポーターとして気をつけたことは？	数日おきに、サポーターの宿で、日本食を用意したり、昼食もおにぎりや、おいなりさんなど、少しでも食べられる物を用意するようにしました。
海外の選手を見て感じたことは？	早くから現地入りしたり、春にあったレースにも参加していた選手も多く、現地の海面をよくわかっていていたのかなと思いました。
日本の選手を見て感じたことは？	個人戦の予選では、みんななかなか自分の思うような結果がでませんでした、チームレースで決勝トーナメントに進むことができて、個人戦の決勝に気持ちを切り替えて、のぞむことができたのではないかなと思います。

Spare day の 過ごし方は？	Spare dayはありませんでしたが、帰国のフライト時間が夜だったので、 近くの海の綺麗なところへ、クルージングに行きました。
日本チームとして の課題はありました か	いろんなノータイスが、前日の夜など、ギリギリに届くことが多かったのですが、時間が無いからか、英語のノータイスをちゃんと読めていない子もいました。回轉報告なども全て英語ですし、もっと英語に慣れる必要があると感じました。
JODAへの要望	AGM を傍聴させていただきましたが、貴重な投票権を放棄するのは、もったいないと感じました。事前に、JODA の中で投票先についてご検討いただき、その結果を会議に参加する方が、代理投票する方が、日本チームにとっても、いいのではないかなと思いました。
その他	男子ばかりの同級生チームで、みんなとても仲が良く、OP での最後の海外遠征で、とてもいい思い出ができたと思います。まだまだ、コロナが落ち着かない中、派遣をしてくださり、ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました

JODA 海外派遣委員会